

令和2年度（2020年度）

第44回神奈川県アンサンブルコンテスト予選

第21回相模原アンサンブルコンテスト

実施要項



※今年度は審査員による演奏動画審査（非公開）

動画の提出日：令和2年11月1日（日）

<審査日>

<部門>

令和2年11月14日（土）

高等学校の部・フリー部門

令和2年11月15日（日）

中学校の部・フリー部門

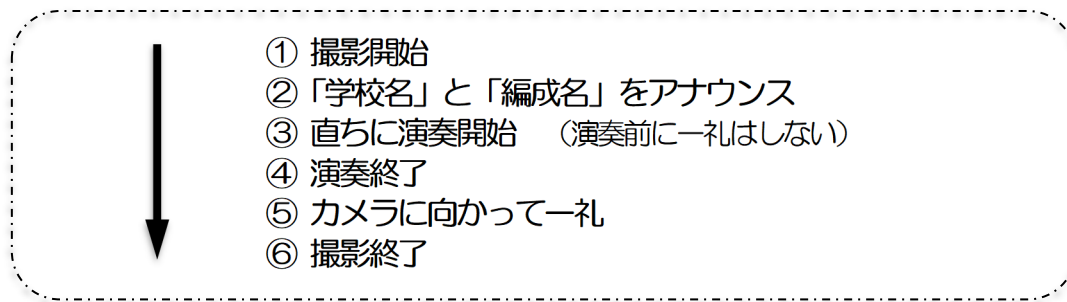
<審査会場>

東海大学付属相模高等学校

主催 相模原吹奏楽連盟・朝日新聞社
共催 (公財)相模原市民文化財団

[1] 演奏動画の撮影について

<動画撮影の流れ>



<注意事項>

- (1) 1台のビデオカメラ（スマートフォン等含む）で常に演奏者全員の全身が映るように位置と角度を固定して、撮影を行うこと。（途中でカメラを動かすことや、ズーム操作は不可）
- (2) 上記<動画撮影の流れ>の①から⑥まで、通し（ワンカット）で撮影すること。
- (3) アナウンス担当者は、演奏者自らでも、演奏者以外（映っていない者）でも構わない。
- (4) 動画の編集は一切認めない。（音や映像の加工や、複数カットの繋ぎ合わせ等）
万が一、編集が発覚した場合は、当該チームを審査対象外とする。

[2] 動画データの提出について

<提出する前に>

- (1) 動画のファイル形式（拡張子）は「.mp4」、「.mov」、「.avi」のいずれかとする。
指定された形式での動画作成が不可能な場合は、相模原吹奏楽連盟に相談すること。
- (2) ファイル名は「学校名・編成名」とする。（すべて全角）
また、同一校の同一編成の場合はA、Bと区別すること。
例：相模原市立△△中学校・フルート3重奏.mov
県立〇〇高等学校・管楽打楽器8重奏A.mp4
- (3) 動画データのバックアップを必ずとり、大会終了まで各校で保存しておくこと。
- (4) 提出用のSDカードに動画ファイルを保存する。（各校1枚のSDカードにまとめること。）
- (5) 提出する前にもう一度、演奏前アナウンスから最後の一礼まで、音と映像が収録されているかどうか、必ず確認すること。

<提出と返却について>

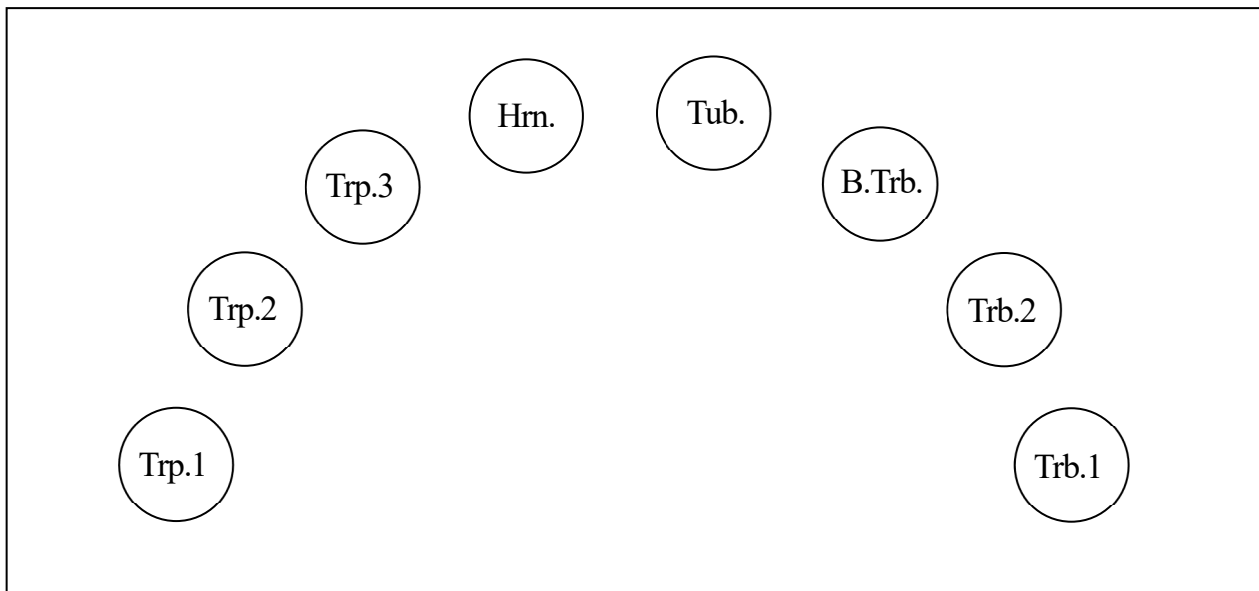
- (6) 学校名を記入した封筒にSDカードを入れて、11月1日の説明会の受付にて提出すること。
- (7) 提出されたSDカードの返却は、賞状等と合わせて郵送にて行う。（審査日から1週間程度を予定）

[3] ステージ配置図について

- (1) 11月1日の説明会にて、各チーム1部ずつ提出すること。
- (2) 出演者の確認等に使用するため、動画再生開始時点での立ち位置が分かるようにパート名を記入する。
- (3) 打楽器は楽器名に加えて、パート名（Perc.1など）も分かるように記入すること。

<記入例>

部門	中学校の部	学校名	相模原市立〇〇中学校
		編成名	金管8重奏



(前)

[4] 説明会について

説明会には、顧問（またはその代理）1名が必ず出席すること。
欠席の場合や、提出物に不備がある場合には、大会参加を認めない。

<日時と会場>

日時	令和2年11月1日(日)
	受付 13:30 開会 14:00
会場	東海大学付属相模高等学校

<提出物>

① SDカード	(各校1枚、学校名を書いた封筒に入れて)
② ステージ配置図	(出場チーム数分)

<説明会の内容>

- 演奏順（動画再生の順番）を決める抽選
- 審査から結果発表までの流れの説明
- その他

[5] 審査および表彰について

- (1) 各審査員が「技術」「表現」の観点で10段階で評価する。その評価を審査集計係が徹密に処理を行う。賞は、審査員の合意によって決定され、金賞・銀賞・銅賞の別をもって行う。
- (2) 表彰式は行わない。
- (3) 審査結果の発表は、審査日の夕方頃に相模原吹奏楽連盟のホームページにて行う。
- (4) 賞状や審査・講評用紙は、後日学校宛に郵送する。(審査日から1週間程度を予定)

[6] 審査員

織茂 学	(ピアノ・作曲)	
滝上 典彦	(サクソフォーン)	
深石 宗太郎	(ユーフォニアム)	
前田 啓太	(打楽器)	<敬称略・50音順>

※この実施要項が公開された日から当日まで、審査員から指導を受けることや、事前に連絡等を行うことを禁止する。また、審査の結果等について、審査員に異議申し立てを行うことも禁止する。

[7] 県大会への推薦

- (1) 相模原支部からの推薦チーム数は次の通り。
 - ・中学校の部 …… 3 チーム
 - ・高等学校の部 …… 4 チーム
- (2) 県大会の参加申込書は、相模原支部大会で使用したものを当連盟が取りまとめて神奈川県吹奏楽連盟の事務局に提出する。その他の手続きについては、県大会の参加要項をよく確認のうえ、各校で実施すること。

[8] その他

- (1) 大会運営に関する危機管理について
地震や火災、停電等の突発的な事態が生じた際に、主催者としてまず人命を第一に踏まえたうえで、次のような措置を取る場合がある。
 - ①演奏を中断させることがある。(今回は動画の再生を)
 - ②演奏を中断した団体については、原則として当該部門の最後に再演奏(動画の再生)を行う。
 - ③審査員および役員の災害時における避難誘導に関しては、会場校職員の指示に従う。
- (2) 個人情報の取り扱いについて
参加申込書の取り扱いについて、個人情報保護法に基づき、要項作成や事務手続き、各出演団体との連絡等以外での使用は行わない。